

年金払定期付積立型変額保険

LIFE PRODUCE
(06)

ライフ プロデュース (06)

【引受保険会社】



アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1 17 3

2008年度
(2008年4月～2009年3月)
特別勘定の現況

決算のお知らせ

ご契約者の皆様へ

日ごろは格別のお引き立てを頂き、誠に有り難く御礼申し上げます。
さて、弊社は去る3月31日に決算を迎えましたので、ここに特別勘定の運用状況をご報告申し上げます。
今後とも何卒ご愛顧の程よろしくお願い申し上げます。

【利用する投資信託の委託会社】

アライアンス・バーンスタイン株式会社

AB
ALLIANCEBERNSTEIN

アライアンス・バーンスタイン株式会社は、米国ニューヨークに本社を置くアライアンス・バーンスタイン・エル・ピーを中核とするアライアンス・バーンスタイン*の日本拠点です。アライアンス・バーンスタイン・エル・ピーは1971年の設立以来、資産運用会社として長年にわたる歴史を有し、世界各国の主要都市に業務展開を行い、個人投資家や富裕層、機関投資家向けに投資信託や年金運用等の投資サービスを提供しています。業界最大級のグローバルな調査体制を擁する世界有数の運用会社として、グローブ株式、パリュウ株式、債券、ブレイド戦略など、幅広い資産運用サービスや商品を提供しています。

*アライアンス・バーンスタインには、アライアンス・バーンスタイン・エル・ピーとその傘下の関連会社を含みます。

- ・ アクサ生命保険株式会社の「年金払定期付積立型変額保険」は、特別勘定で運用を行う保険商品です。特別勘定の主たる運用手段として投資信託を用いますが、投資信託ではありません。
 - ・ 当資料は、アクサ生命保険株式会社の「年金払定期付積立型変額保険」の運用状況等を開示するためのものであり、生命保険の募集を目的としたものではありません。
 - ・ 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき作成した部分を含んでおりますが、その部分の正確性・完全性については、これを保証するものではありません。
 - ・ 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
 - ・ 商品内容の詳細については「契約締結前交付書面(契約概要/注意喚起情報)(*)」、「リファレンスブック」、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」をあわせてご覧ください。
 - ・ 当資料に記載されている各表にある金額、比率、資産構成等はそれぞれの項目を四捨五入等していますので、合計等と合致しないことがあります。
- * 金融商品取引法の2007年9月30日完全施行により配布を開始しております。

年金払定期付積立型変額保険

特別勘定の現況

(2008年4月～2009年3月)

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・当ページは、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき、アクサ生命保険株式会社が作成し提供するものです。情報の内容に関しては万全を期しておりますが、その正確性・完全性については、これを保証するものではありません。

運用環境 [2008年4月～2009年3月]

【日本株式市場】

日本株式市場は、下落しました。TOPIX(東証株価指数)は前期末比 36.22%下落の773.66ポイント(前期末は1,212.96ポイント)で終了しました。

6月初旬にかけて、米株高や円安進行を背景に一時1,400ポイント台まで上昇しました。しかしその後は、資源価格高騰による企業収益圧迫懸念などから下落に転じました。9月に入ると米大手証券の経営破綻を受けて金融システム不安が再燃し、金融市場は大混乱となり急落しました。その後は、金融不安の実体経済への波及や円高進行が嫌気される一方、各国の経済対策への期待が交錯し、安値圏で変動の激しい展開となりました。3月には一時700ポイントを割込み、バブル崩壊後の安値を更新しました。

業種別(東証33業種)では、円高・原油安等によるコスト低下期待から「パルプ・紙」(前期末比 5.18%)の下落率が限定的だった一方、軟調な海運市況を背景に「海運業」(同 61.35%)が最も下落しました。

【外国株式市場】

米国株式市場は、下落しました。NYダウは前期末比 37.95%下落の7,608.92ポイント(前期末は12,262.89ポイント)で終了しました。5月中旬にかけて堅調な推移で始まったものの、その後は米政府系住宅公社(GSE)の破綻懸念や米大手証券の経営破綻を契機に急落しました。11月以降、オバマ次期米大統領の経済対策への期待などから一時的に反発する局面もありましたが、米自動車会社の経営危機などから引き続き景気後退が懸念され、概ね軟調な展開となりました。

欧州株式市場は、下落しました。市場別騰落率は、英FT100は前期末比 31.15%下落、仏CAC40は同 40.36%下落、独DAXは同 37.49%下落となりました。世界的な金融不安の深刻化などを背景に、概ね米国同様の動きとなりました。

【日本債券市場】

日本債券市場は、期初の金利上昇後は低下基調で推移し、当期末の新発10年国債利回りは1.340%となりました(前期末は1.275%)。

資源価格高騰による世界的なインフレ懸念を背景に金利は上昇基調で始まり、6月に一時1.9%近傍まで上昇しました。その後は、金融不安を背景とする世界的な景況感の悪化や金融緩和策の実施、4-6月期以降連続してマイナスとなった実質GDP成長率など軟調な国内経済指標を受けて、12月には1.1%台まで低下しました。期末にかけては、追加経済対策に伴う国債需給悪化懸念を嫌気した債券売りが台頭し、1.3%前後の狭い範囲で採み合いながら推移しました。

日銀は、前期末年0.5%であった政策金利を当期末までに年0.1%まで引き下げました。

無担保コール(翌日物)は前期末0.5%程度から当期末0.1%程度に水準を切り下げ推移しました。

【外国債券市場】

米国債券市場は、期後半に金利が大幅に低下しました。米10年国債利回りは期前半は4.0%前後で堅調に推移しましたが、その後米大手証券の経営破綻などをを受けて投資家のリスク回避傾向が高まる中、米FRB(連邦準備制度理事会)による利下げやインフレ圧力の低下を背景とした国債買いが優勢となり、当期末は2.663%となりました(前期末は3.410%)。

欧州債券市場は、期中頃に金利が大幅に低下しました。独10年国債利回りは7月に4.6%台まで上昇した後、世界的な金融市場の混乱に加え軟調な域内経済指標を受けて、低下の一途を辿り、当期末は2.994%となりました(前期末は3.899%)。

米FRBは、前期末年2.25%であったFF(フェデラル・ファンド)金利の誘導目標を当期末までに年0.0～0.25%まで引き下げました。ECB(欧州中央銀行)は前期末年4.0%であった政策金利を7月に年4.25%としましたが、当期末までに年1.5%まで引き下げました。

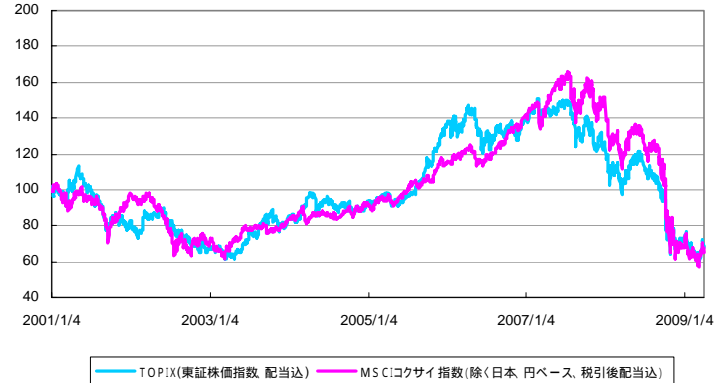
【外国為替市場】

米ドル/円相場は、インフレ懸念を背景に米FRBによる過度な利下げ観測が後退し、8月には1ドル=110円台まで円安が進行しました。9月以降は金融不安が再燃し、12月には13年ぶりに87円台まで円高が進行しました。期末にかけては、国内の景況感悪化を背景とした円売りが戻す展開となりました。円は対ドルで前期末比1円96銭(+1.96%)円高ドル安の1ドル=98円23銭(前期末は1ドル=100円19銭)となりました。

ユーロ/円相場は、インフレ懸念を背景にECBによる利上げ観測が台頭し、7月には1ユーロ=169円台まで円安が進行しました。8月以降は欧州での景気後退の深刻化懸念やECBの大幅な利下げによる金利差縮小を受けて、急激に円高が進行しました。円は対ユーロで前期末比28円35銭(+17.92%)円高ユーロ安の1ユーロ=129円84銭(前期末は1ユーロ=158円19銭)となりました。

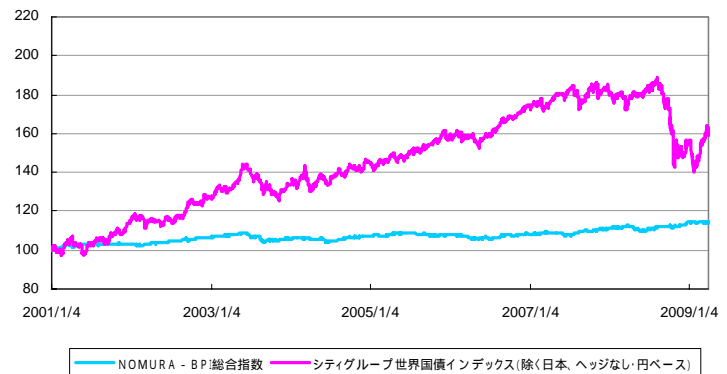
日本と外国の株式市場の推移

*下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。

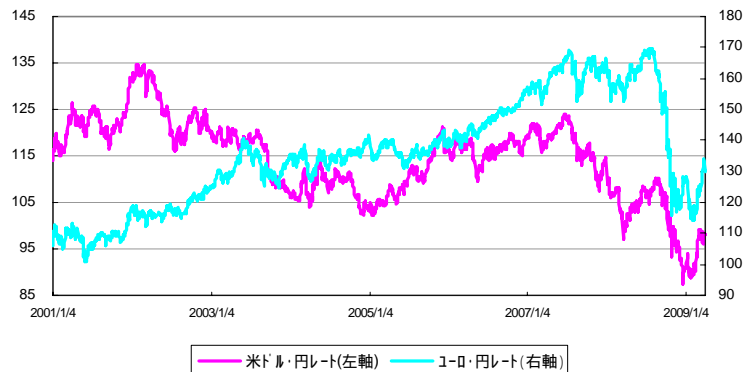


日本と外国の債券市場の推移

*下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。



外国為替市場の推移



出所: 株式会社三菱東京UFJ銀行の対顧客電信相場仲値

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

年金払定期付積立型変額保険

特別勘定の現況

(2008年4月～2009年3月)

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

特別勘定の種類と運用方針について

特別勘定名	基本資産 配分比率	利用する投資信託		
		投資信託名	運用方針	委託会社
ライフ プロデュース30	世界 株式 30%	適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・ グローバル・バランス (保守型)	マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として日本を含む世界各国の株式および投資適格債(BBB格以上)に分散投資し、信託財産の長期的な成長を図ることを目指します。株式の実質組み入れ比率は純資産の30%程度を基本とし、一定の規律に従いリバランス ¹⁾ を行います。 外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。	アライアンス・ バーンスタイン 株式会社
	世界 債券 70%			
ライフ プロデュース50	世界 株式 50%	適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・ グローバル・バランス (中立型)	マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として日本を含む世界各国の株式および投資適格債(BBB格以上)に分散投資し、信託財産の長期的な成長を図ることを目指します。株式の実質組み入れ比率は純資産の50%程度を基本とし、一定の規律に従いリバランス ¹⁾ を行います。 外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。	
	世界 債券 50%			
ライフ プロデュース70	世界 株式 70%	適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・ グローバル・バランス (積極型)	マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として日本を含む世界各国の株式および投資適格債(BBB格以上)に分散投資し、信託財産の長期的な成長を図ることを目指します。株式の実質組み入れ比率は純資産の70%程度を基本とし、一定の規律に従いリバランス ¹⁾ を行います。 外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。	
	世界 債券 30%			
ライフ プロデュース日本株式	日本 株式 100%	適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・ ジャパン・スタイル・ブレンド・ ファンド - 1	マザーファンド受益証券への投資を通じて、投資スタイルの分散を図り、主として日本の株式を投資対象に信託財産の長期的な成長を図ることを目的に積極的な運用を行います。バリュース株(割安株)およびグロース株(成長株)への投資配分は50%程度ずつを基本とし、一定の規律に従いリバランス ¹⁾ を行います。	
ライフ プロデュース世界株式	世界 株式 100%	適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・ グローバル・グロース・ オポチュニティーズ - 3	マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として世界各国(日本を含む)の株式を投資対象に成長の可能性が高いと判断される「産業セクター」の中から、成長性が高いと思われる銘柄に投資し、信託財産の長期的な成長を図ることを目的に積極的な運用を行います。 外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。	
ライフ プロデュース世界債券	世界 債券 100%	適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・ グローバル・ボンド・ ファンド - 1	マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として世界各国の投資適格債(BBB格以上)を投資対象に相対的投資価値分析を基本として、信託財産の長期的な成長を図ることを目的に積極的な運用を行います。 外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。	

特別勘定の種類、運用方針および委託会社等の運用協力会社は、将来変更されることがあります。

特別勘定には、各種支払等に備え、一定の現金、預金等を保有することがあります。

・3ページおよび5ページ～10ページに記載されている「*1～*4」の用語説明は、11ページに記載しています。

[引受保険会社]
アクサ生命保険株式会社
 お問合せ先: カスタマーサービスセンター
 Tel 0120-936-133
 アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

年金払定期付積立型変額保険

特別勘定の現況

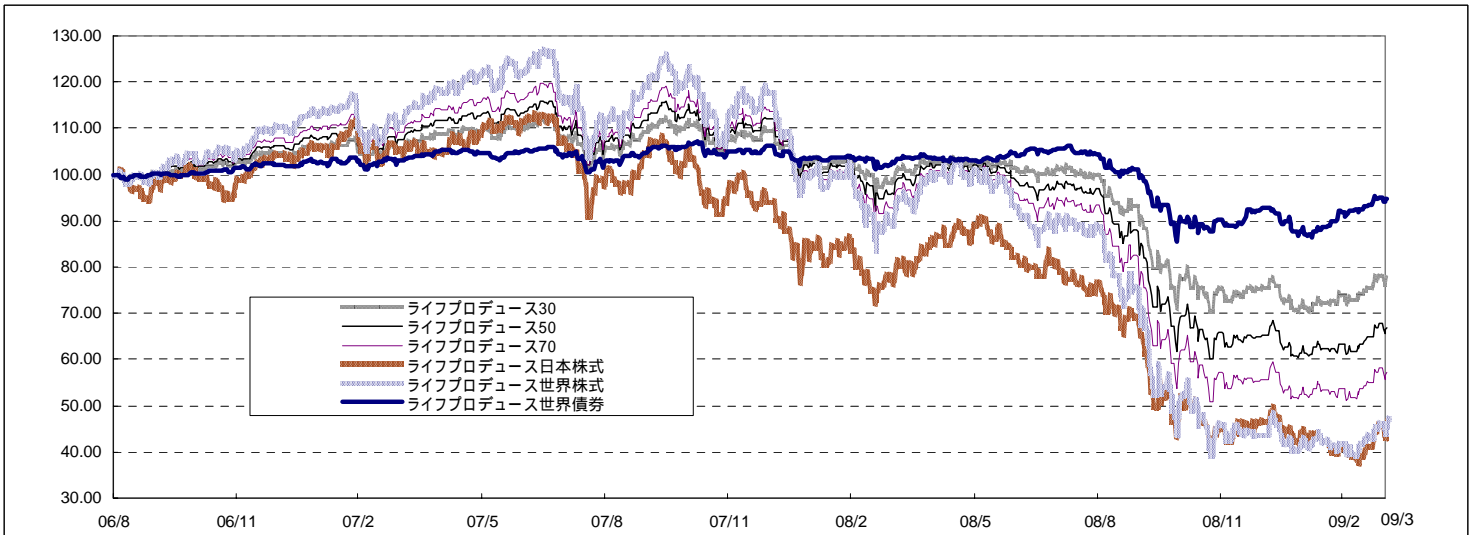
(2008年4月～2009年3月)

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

特別勘定の運用状況 [2009年3月 末日現在]

特別勘定のユニットプライスの推移

特別勘定のユニットプライスは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



特別勘定資産の内訳

特別勘定名	資産残高
	金額(千円)
ライフプロデュース30	125,930
ライフプロデュース50	850,782
ライフプロデュース70	472,323
ライフプロデュース日本株式	195,549
ライフプロデュース世界株式	566,368
ライフプロデュース世界債券	358,981

金額の単位未満は切捨てとしました。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

年金払定期付積立型変額保険 特別勘定の現況

(2008年4月～2009年3月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

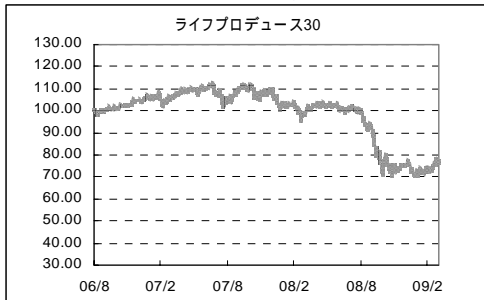
特別勘定 ライフプロデュース30 [2009年3月 末日現在]

特別勘定の運用コメントおよび今後の運用方針

2008年度のユニット騰落率は 22.78%となりました。
当期の世界の債券市場は概ね上昇したものの、世界の株式市場は軟調に推移し、為替市場ではユーロが日本円に対して大きく下落しました。利用する投資信託のベンチマークとの比較では、世界株式Mファンドの金融サービス・セクターやエネルギー・天然資源セクターにおける銘柄選択および世界債券Mファンドの社債の組入れがマイナス要因となりました。各マザーファンドに対する基本資産配分を概ね維持しました。
今後も引き続き、当投資信託への投資を行う方針です。

特別勘定のユニットプライスの推移

特別勘定のユニットプライスは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



ライフプロデュース30			
ユニットプライス		騰落率 (%)	
2009年3月末	76.17	過去1ヵ月	3.20
2008年12月末	75.45	過去3ヵ月	0.97
2008年9月末	88.97	過去6ヵ月	14.38
2008年6月末	101.33	過去1年	22.78
2008年3月末	98.65	過去3年	-
2007年12月末	109.63	設定来	23.82

特別勘定資産の運用収支状況

項目	金額(千円)
利息配当金収入	2
有価証券売却益	-
有価証券評価益	-
有価証券償還益	-
為替差益	-
その他収益	-
有価証券売却損	-
有価証券評価損	22,993
有価証券償還損	-
為替差損	-
その他費用及び損失	667
収支差計	23,658

特別勘定のユニットプライスは、2006年8月30日のプライスを100.00として計算しています。
騰落率は、該当月の月末のユニットプライスに対する当月末のユニットプライスの変動率を表しています。
特別勘定のユニットプライスは、弊社ホームページにて各営業日にご確認くださいことができます。

特別勘定資産の内訳

項目	ライフプロデュース30	
	金額(千円)	比率 (%)
現預金・コールローン	1,169	0.9
その他有価証券	124,761	99.1
合計	125,930	100.0

特別勘定で利用している国内投資信託は、「その他有価証券」の項目に含まれています。
なお、当特別勘定で利用している投資信託は以下(参考情報)に記載しております。
金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しています。

(参考情報) 適格機関投資家私募 アライアンス・バースタイン・グローバル・バランス(保守型) [2009年3月 末日現在]

利用する投資信託について

【投資信託名】 適格機関投資家私募 アライアンス・バースタイン・グローバル・バランス(保守型)
【委託会社】 アライアンス・バースタイン株式会社

【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として日本を含む世界各国の株式および投資適格債(BBB格以上)に分散投資し、信託財産の長期的な成長を図ることを目指します。株式の実質組み入れ比率は純資産の30%程度を基本とし、一定の規律に従いリバランス¹⁾を行います。外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。

当投資信託は、主としてアライアンス・バースタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ・マザーファンド受益証券、アライアンス・バースタイン・グローバル・ボンド・マザーファンド受益証券に投資します。

当投資信託の資産配分比率

比率は、投資信託組入全銘柄に対する比率となります。

	基本資産配分	投資信託
世界株式Mファンド*	30.00%	31.18%
世界債券Mファンド**	70.00%	69.29%
短期金融資産等	0.00%	-0.47%
合計	100.00%	100.00%

* 世界株式Mファンド:アライアンス・バースタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ・マザーファンド受益証券

** 世界債券Mファンド:アライアンス・バースタイン・グローバル・ボンド・マザーファンド受益証券

当投資信託の騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	3.14%	1.01%	13.99%	22.18%	-	18.20%
BM	2.21%	0.20%	14.60%	18.28%	-	12.40%
差	0.93%	1.21%	0.60%	3.89%	-	5.80%

設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2006年6月5日)を起点として計算しています。

投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。

「BM」とは、合成ベンチマークを指します。

合成ベンチマークの組合せの比率は以下のとおりです。

	投資信託
MSCIワールド・インデックス ²⁾ (税引後配当金込/円ベース)	30.00%
シティグループ世界国債インデックス (円ベース) ³⁾	70.00%

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・3ページおよび5ページ～10ページに記載されている¹⁾～⁴⁾の用語説明は、11ページに記載しています。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

年金払定期付積立型変額保険 特別勘定の現況

(2008年4月～2009年3月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

特別勘定 ライフプロデュース50 [2009年3月 末日現在]

特別勘定の運用コメントおよび今後の運用方針

2008年度のユニット騰落率は 31.70%となりました。
当期の世界の債券市場は概ね上昇したものの、世界の株式市場は軟調に推移し、為替市場ではユーロが日本円に対して大きく下落しました。利用する投資信託のベンチマークとの比較では、世界株式Mファンドの金融サービス・セクターやエネルギー・天然資源セクターにおける銘柄選択および世界債券Mファンドの社債の組入れがマイナス要因となりました。各マザーファンドに対する基本資産配分を概ね維持しました。
今後も引き続き、当投資信託への投資を行う方針です。

特別勘定のユニットプライスの推移

特別勘定のユニットプライスは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



ライフプロデュース50			
ユニットプライス		騰落率 (%)	
2009年3月末	65.49	過去1ヵ月	3.53
2008年12月末	65.11	過去3ヵ月	0.58
2008年9月末	82.55	過去6ヵ月	20.66
2008年6月末	98.88	過去1年	31.70
2008年3月末	95.89	過去3年	-
2007年12月末	111.97	設定来	34.50

特別勘定資産の運用収支状況

項目	金額(千円)
利息配当金収入	15
有価証券売却益	-
有価証券評価益	-
有価証券償還益	-
為替差益	-
その他収益	-
有価証券売却損	-
有価証券評価損	255,857
有価証券償還損	-
為替差損	-
その他費用及び損失	2,259
収支差計	258,100

特別勘定のユニットプライスは、2006年8月30日のプライスを100.00として計算しています。
騰落率は、該当月の月末のユニットプライスに対する当月末のユニットプライスの変動率を表しています。
特別勘定のユニットプライスは、弊社ホームページにて各営業日にご確認くださいことができます。

特別勘定資産の内訳

項目	ライフプロデュース50	
	金額(千円)	比率 (%)
現預金・コールローン	5,303	0.6
その他有価証券	845,478	99.4
合計	850,782	100.0

特別勘定で利用している国内投資信託は、「その他有価証券」の項目に含まれています。
なお、当特別勘定で利用している投資信託は以下(参考情報)に記載しております。
金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しています。

(参考情報) 適格機関投資家私募 アライアンス・バースタイン・グローバル・バランス(中立型) [2009年3月 末日現在]

利用する投資信託について

【投資信託名】 適格機関投資家私募 アライアンス・バースタイン・グローバル・バランス(中立型)
【委託会社】 アライアンス・バースタイン株式会社

【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として日本を含む世界各国の株式および投資適格債(BBB格以上)に分散投資し、信託財産の長期的な成長を図ることを目指します。株式の実質組み入れ比率は純資産の50%程度を基本とし、一定の規律に従いリバランス¹⁾を行います。外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。

当投資信託は、主としてアライアンス・バースタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ・マザーファンド受益証券、アライアンス・バースタイン・グローバル・ボンド・マザーファンド受益証券に投資します。

当投資信託の資産配分比率

比率は、投資信託組入全銘柄に対する比率となります。

	基本資産配分	投資信託
世界株式Mファンド*	50.00%	52.10%
世界債券Mファンド**	50.00%	48.38%
短期金融資産等	0.00%	-0.48%
合計	100.00%	100.00%

* 世界株式Mファンド:アライアンス・バースタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ・マザーファンド受益証券

** 世界債券Mファンド:アライアンス・バースタイン・グローバル・ボンド・マザーファンド受益証券

当投資信託の騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	3.38%	0.53%	20.42%	31.31%	-	29.89%
BM	2.94%	1.27%	20.38%	26.23%	-	22.48%
差	0.43%	1.80%	0.04%	5.08%	-	7.41%

設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2006年6月5日)を起点として計算しています。

投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。

「BM」とは、合成ベンチマークを指します。

合成ベンチマークの組合せの比率は以下のとおりです。

	投資信託
MSCIワールド・インデックス ²⁾ (税引後配当金込/円ベース)	50.00%
シティグループ世界国債インデックス (円ベース) ³⁾	50.00%

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・3ページおよび5ページ～10ページに記載されている¹⁾～⁴⁾の用語説明は、11ページに記載しています。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

年金払定期付積立型変額保険 特別勘定の現況

(2008年4月～2009年3月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

特別勘定 ライフプロデュース70 [2009年3月 末日現在]

特別勘定の運用コメントおよび今後の運用方針

2008年度のユニット騰落率は 39.93%となりました。
当期の世界の債券市場は概ね上昇したものの、世界の株式市場は軟調に推移し、為替市場ではユーロが日本円に対して大きく下落しました。利用する投資信託のベンチマークとの比較では、世界株式Mファンドの金融サービス・セクターやエネルギー・天然資源セクターにおける銘柄選択および世界債券Mファンドの社債の組入れがマイナス要因となりました。各マザーファンドに対する基本資産配分を概ね維持しました。
今後も引き続き、当投資信託への投資を行う方針です。

特別勘定のユニットプライスの推移

特別勘定のユニットプライスは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



特別勘定のユニットプライスは、2006年8月30日のプライスを100.00として計算しています。
騰落率は、該当月の月末のユニットプライスに対する当月末のユニットプライスの変動率を表しています。
特別勘定のユニットプライスは、弊社ホームページにて各営業日にご確認くださいことができます。

特別勘定資産の運用収支状況

項目	金額(千円)
利息配当金収入	9
有価証券売却益	-
有価証券評価益	-
有価証券償還益 為替差益	-
その他収益	-
有価証券売却損	-
有価証券評価損	208,030
有価証券償還損 為替差損	-
その他費用及び損失	6,424
収支差計	214,445

ライフプロデュース70			
ユニットプライス		騰落率(%)	
2009年3月末	55.72	過去1ヵ月	3.79
2008年12月末	55.68	過去3ヵ月	0.08
2008年9月末	75.69	過去6ヵ月	26.38
2008年6月末	96.08	過去1年	39.93
2008年3月末	92.75	過去3年	-
2007年12月末	113.81	設定来	44.28

特別勘定資産の内訳

項目	ライフプロデュース70	
	金額(千円)	比率(%)
現預金・コールローン	5,373	1.1
その他有価証券	466,950	98.9
合計	472,323	100.0

特別勘定で利用している国内投資信託は、「その他有価証券」の項目に含まれています。
なお、当特別勘定で利用している投資信託は以下(参考情報)に記載しております。
金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しています。

(参考情報) 適格機関投資家私募 アライアンス・バースタイン・グローバル・バランス(積極型) [2009年3月 末日現在]

利用する投資信託について

【投資信託名】 適格機関投資家私募 アライアンス・バースタイン・グローバル・バランス(積極型)
【委託会社】 アライアンス・バースタイン株式会社

【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として日本を含む世界各国の株式および投資適格債(BBB格以上)に分散投資し、信託財産の長期的な成長を図ることを目指します。株式の実質組入れ比率は純資産の70%程度を基本とし、一定の規律に従いリバランス¹⁾を行います。外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。

当投資信託は、主としてアライアンス・バースタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ・マザーファンド受益証券、アライアンス・バースタイン・グローバル・ボンド・マザーファンド受益証券に投資します。

当投資信託の資産配分比率

比率は、投資信託組入全銘柄に対する比率となります。

	基本資産配分	投資信託
世界株式Mファンド*	70.00%	71.71%
世界債券Mファンド**	30.00%	28.84%
短期金融資産等	0.00%	-0.55%
合計	100.00%	100.00%

* 世界株式Mファンド:アライアンス・バースタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ・マザーファンド受益証券

** 世界債券Mファンド:アライアンス・バースタイン・グローバル・ボンド・マザーファンド受益証券

当投資信託の騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	3.56%	0.02%	26.20%	39.59%	-	40.37%
BM	3.62%	2.46%	26.14%	33.84%	-	32.01%
差	0.06%	2.48%	0.06%	5.75%	-	8.36%

設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2006年6月5日)を起点として計算しています。

投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。

「BM」とは、合成ベンチマークを指します。

合成ベンチマークの組合せの比率は以下のとおりです。

	投資信託
MSCIワールド・インデックス ²⁾ (税引後配当金込/円ベース)	70.00%
シティグループ世界国債インデックス (円ベース) ³⁾	30.00%

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・3ページおよび5ページ～10ページに記載されている¹⁾～⁴⁾の用語説明は、11ページに記載しています。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

年金払定期付積立型変額保険 特別勘定の現況

(2008年4月～2009年3月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

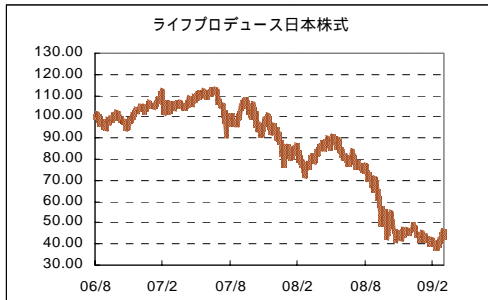
特別勘定 ライフプロデュース日本株式 [2009年3月 末日現在]

特別勘定の運用コメントおよび今後の運用方針

2008年度のユニット騰落率は 43.96%となりました。(以下、委託会社独自のセクター別およびGICSセクター別で記載。)
当期の日本の株式市場は、大幅に下落しました。利用する投資信託のベンチマークとの比較では、バリュー株Mファンドのセクター配分は、素材のオーバーウェイトなどがマイナスに寄与しました。銘柄選択では、テクノロジーなどがマイナス寄与となりました。グロース株Mファンドのセクター配分は、公益のアンダーウェイトなどがマイナスに寄与しました。銘柄選択では、資本財・サービスなどがマイナス寄与となりました。各マザーファンドに対する基本資産配分を概ね維持しました。
今後も引き続き、当投資信託への投資を行う方針です。

特別勘定のユニットプライスの推移

特別勘定のユニットプライスは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



特別勘定のユニットプライスは、2006年8月30日のプライスを100.00として計算しています。
騰落率は、該当月の月末のユニットプライスに対する当月末のユニットプライスの変動率を表しています。
特別勘定のユニットプライスは、弊社ホームページにて各営業日にご確認くださいことができます。

特別勘定資産の運用収支状況

項目	金額(千円)
利息配当金収入	3
有価証券売却益	-
有価証券評価益	-
有価証券償還益 為替差益	-
その他収益	-
有価証券売却損	-
有価証券評価損	104,132
有価証券償還損 為替差損	-
その他費用及び損失	314
収支差計	104,443

ライフプロデュース日本株式			
ユニットプライス		騰落率(%)	
2009年3月末	42.71	過去1ヵ月	3.80
2008年12月末	46.81	過去3ヵ月	8.76
2008年9月末	64.80	過去6ヵ月	34.08
2008年6月末	82.21	過去1年	43.96
2008年3月末	76.21	過去3年	-
2007年12月末	94.14	設定来	57.29

特別勘定資産の内訳

項目	ライフプロデュース日本株式	
	金額(千円)	比率(%)
現預金・コールローン	1,455	0.7
その他有価証券	194,093	99.3
合計	195,549	100.0

特別勘定で利用している国内投資信託は、「その他有価証券」の項目に含まれています。
なお、当特別勘定で利用している投資信託は以下(参考情報)に記載しております。
金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しています。

(参考情報) 適格機関投資家私募 アライアンス・パースタイン・ジャパン・スタイル・ブレンド・ファンド - 1 [2009年3月 末日現在]

利用する投資信託について

【投資信託名】 適格機関投資家私募 アライアンス・パースタイン・ジャパン・スタイル・ブレンド・ファンド - 1
【委託会社】 アライアンス・パースタイン株式会社

【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、投資スタイルの分散を図り、主として日本の株式を投資対象に信託財産の長期的な成長を図ることを目的に積極的な運用を行います。バリュー株(割安株)及びグロース株(成長株)への投資配分は、50%程度ずつを基本とし、一定の規律に従いリバランス¹⁾を行います。

当投資信託は、主として
パースタイン・日本ストラテジック・バリュー株・マザーファンド受益証券、
アライアンス・日本大型成長株・マザーファンド受益証券 に投資します。

当投資信託の詳細情報 資産配分比率

	基本資産配分	投資信託
バリュー株Mファンド*	50.00%	50.97%
グロース株Mファンド**	50.00%	49.08%
短期金融資産等	0.00%	-0.05%
合計	100.00%	100.00%

* バリュー株Mファンド: パースタイン・日本ストラテジック・バリュー株・マザーファンド受益証券

** グロース株Mファンド: アライアンス・日本大型成長株・マザーファンド受益証券

当投資信託の騰落率

	過去 1ヵ月	過去 3ヵ月	過去 6ヵ月	過去 1年	過去 3年	設定来
投資信託	3.64%	8.96%	34.05%	43.82%	-	56.42%
BM	3.45%	8.85%	27.89%	34.78%	-	49.01%
差	0.19%	0.11%	6.16%	9.04%	-	7.41%

設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2006年6月5日)を起点として計算しています。

投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。

「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、

TOPIX(東証株価指数 配当込)⁴⁾です。

・比率は、投資信託組入全銘柄に対する比率となります。

組入上位10銘柄

銘柄	業種	投資信託
1 トヨタ自動車	輸送用機器	5.35%
2 三井物産	卸売業	4.21%
3 キヤノン	電気機器	3.54%
4 三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	3.42%
5 日本電信電話	情報・通信業	3.16%
6 本田技研工業	輸送用機器	3.00%
7 KDDI	情報・通信業	2.94%
8 東日本旅客鉄道	陸運業	2.45%
9 第一三共	医薬品	2.40%
10 クボタ	機械	2.38%
合計		32.85%
組入銘柄数		79銘柄

上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・3ページおよび5ページ～10ページに記載されている「*1～*4」の用語説明は、11ページに記載しています。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

年金払定期付積立型変額保険

特別勘定の現況

(2008年4月～2009年3月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

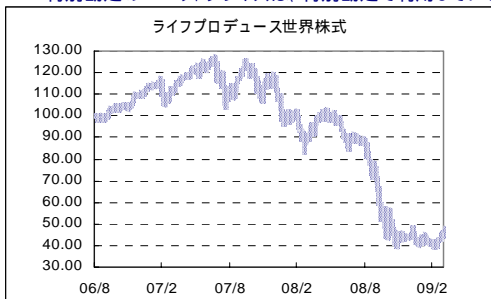
特別勘定 ライフプロデュース世界株式 [2009年3月 末日現在]

特別勘定の運用コメントおよび今後の運用方針

2008年度のユニット騰落率は 51.06%となりました。(以下、委託会社独自のセクター別で記載。)
 当期の世界の株式市場は大幅に下落しました。利用する投資信託のベンチマークとの比較では、セクター配分はプラスに寄与したものの、銘柄選択はマイナスに寄与しました。セクター配分では、金融サービス・セクターのアンダーウェイトなどがプラスに寄与しました。銘柄選択では、金融サービス・セクターやエネルギー・天然資源セクターにおける選択が主なマイナス要因となりました。
 今後も引き続き、当投資信託への投資を行う方針です。

特別勘定のユニットプライスの推移

特別勘定のユニットプライスは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



ライフプロデュース世界株式			
ユニットプライス		騰落率 (%)	
2009年3月末	43.64	過去1ヵ月	4.15
2008年12月末	43.85	過去3ヵ月	0.49
2008年9月末	67.12	過去6ヵ月	34.98
2008年6月末	92.92	過去1年	51.06
2008年3月末	89.18	過去3年	-
2007年12月末	117.82	設定来	56.36

特別勘定資産の運用収支状況

項目	金額(千円)
利息配当金収入	13
有価証券売却益	-
有価証券評価益	-
有価証券償還益	-
為替差益	-
その他収益	-
有価証券売却損	-
有価証券評価損	364,042
有価証券償還損	-
為替差損	-
その他費用及び損失	4,273
収支差計	368,303

特別勘定のユニットプライスは、2006年8月30日のプライスを100.00として計算しています。
 騰落率は、該当月の月末のユニットプライスに対する当月末のユニットプライスの変動率を表しています。
 特別勘定のユニットプライスは、弊社ホームページにて各営業日にご確認いただくことができます。

特別勘定資産の内訳

項目	ライフプロデュース世界株式	
	金額(千円)	比率 (%)
現預金・コールローン	6,945	1.2
その他有価証券	559,422	98.8
合計	566,368	100.0

特別勘定で利用している国内投資信託は、「その他有価証券」の項目に含まれています。
 なお、当特別勘定で利用している投資信託は以下(参考情報)に記載しております。
 金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しています。

(参考情報) 適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ - 3 [2009年3月 末日現在]

利用する投資信託について

【投資信託名】 適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ - 3
 【委託会社】 アライアンス・バーンスタイン株式会社
 【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として世界各国(日本を含む)の株式を投資対象に成長の可能性が高いと判断される「産業セクター」の中から、成長性が高いと思われる銘柄に投資し、信託財産の長期的な成長を図ることを目的に積極的な運用を行います。外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。

当投資信託は、主として
 アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ・マザーファンド受益証券に投資します。

当投資信託の騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	3.75%	0.80%	34.98%	50.97%	56.55%	27.74%
BM	4.55%	4.45%	34.63%	44.51%	47.52%	15.40%
差	0.80%	3.65%	0.35%	6.46%	9.03%	12.34%

設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2003年9月30日)を起点として計算しています。

投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。

「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、

MSCIワールド・インデックス²(税引後配当金込/円ベース)です。

マザーファンド受益証券の詳細情報

・比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

銘柄	国名	セクター	業態	マザーファンド
1 ウォルマート	アメリカ	生活必需品	小売	3.61%
2 エクソン・モービル	アメリカ	エネルギー	石油	2.34%
3 アパロ・グループ	アメリカ	一般消費財・サービス	大学経営	1.78%
4 クレディ・スイス・グループ	スイス	金融	総合金融	1.70%
5 ゴールドマン・サックス・グループ	アメリカ	金融	証券・投資銀行	1.70%
6 ロシュ・ホールディング	スイス	ヘルスケア	医薬品	1.65%
7 BGグループ	イギリス	エネルギー	ガス	1.63%
8 ロウズ	アメリカ	一般消費財・サービス	建材・家庭用品	1.58%
9 テスコ	イギリス	生活必需品	スーパーマーケット	1.57%
10 ギリアド・サイエンシズ	アメリカ	ヘルスケア	バイオ医薬品	1.56%
合計				19.12%
組入銘柄数				142銘柄

上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・3ページおよび5ページ～10ページに記載されている「*1～*4」の用語説明は、11ページに記載しています。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

年金払定期付積立型変額保険 特別勘定の現況

(2008年4月～2009年3月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

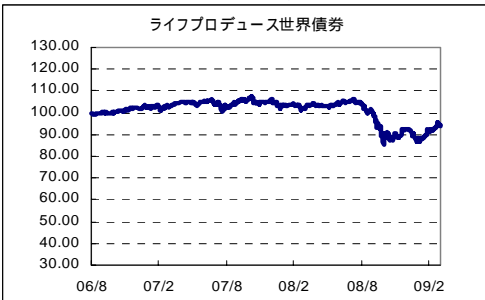
特別勘定 ライフプロデュース世界債券 [2009年3月 末日現在]

特別勘定の運用コメントおよび今後の運用方針

2008年度のユニット騰落率は 8.22%となりました。当期の世界の債券市場は、米国に端を發した金融不安の拡大懸念や、各国での積極的な金融緩和策などを受けて概ね上昇(利回りは低下)しました。利用する投資信託のベンチマークとの比較では、国別配分はプラスに寄与しましたが、金融不安の拡大の影響を受けて軟調に推移した社債の組入れおよび、通貨配分がマイナスに寄与しました。今後も引き続き、当投資信託への投資を行う方針です。

特別勘定のユニットプライスの推移

特別勘定のユニットプライスは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



ユニットプライス		騰落率(%)	
2009年3月末	94.17	過去1ヵ月	2.62
2008年12月末	92.73	過去3ヵ月	1.56
2008年9月末	99.34	過去6ヵ月	5.20
2008年6月末	104.63	過去1年	8.22
2008年3月末	102.61	過去3年	-
2007年12月末	106.12	設定来	5.82

特別勘定資産の運用収支状況

項目	金額(千円)
利息配当金収入	6
有価証券売却益	-
有価証券評価益	-
有価証券償還益	-
為替差益	-
その他収益	-
有価証券売却損	-
有価証券評価損	16,459
有価証券償還損	-
為替差損	-
その他費用及び損失	-
収支差計	16,453

特別勘定のユニットプライスは、2006年8月30日のプライスを100.00として計算しています。騰落率は、該当月の月末のユニットプライスに対する当月末のユニットプライスの変動率を表しています。特別勘定のユニットプライスは、弊社ホームページにて各営業日にご確認いただくことができます。

特別勘定資産の内訳

項目	ライフプロデュース世界債券	
	金額(千円)	比率(%)
現預金・コールローン	111	0.0
その他有価証券	358,870	100.0
合計	358,981	100.0

特別勘定で利用している国内投資信託は、「その他有価証券」の項目に含まれています。なお、当特別勘定で利用している投資信託は以下(参考情報)に記載しております。金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しています。

(参考情報) 適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・グローバル・ボンド・ファンド - 1 [2009年3月 末日現在]

利用する投資信託について

【投資信託名】 適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・グローバル・ボンド・ファンド - 1
【委託会社】 アライアンス・バーンスタイン株式会社

【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として世界各国の投資適格債(BBB格以上)を投資対象に相対的投資価値分析を基本として、信託財産の長期的な成長を図ることを目的に積極的な運用を行います。

外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。

当投資信託は、主としてアライアンス・バーンスタイン・グローバル・ボンド・マザーファンド受益証券に投資します。

当投資信託の騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	2.72%	1.77%	4.74%	7.46%	-	1.55%
BM	1.02%	1.19%	6.02%	5.92%	-	3.51%
差	1.70%	0.58%	1.29%	1.55%	-	1.96%

設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2006年6月5日)を起点として計算しています。

投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。

「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、シティグループ世界国債インデックス(円ベース)¹⁾です。

マザーファンド受益証券の詳細情報 組入上位10銘柄

・比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

銘柄	国名	クーポン	償還日	格付		マザーファンド
				ムーディーズ	S&P	
1 日本国債	日本	1.400%	2013年12月20日	Aa3	AA	6.41%
2 イギリス国債	イギリス	5.000%	2018年3月7日	Aaa	AAA	5.75%
3 ドイツ国債	ドイツ	4.250%	2017年7月4日	Aaa	AAA	4.76%
4 日本国債	日本	1.500%	2015年9月20日	Aa3	AA	4.38%
5 日本国債	日本	1.500%	2017年12月30日	Aa3	AA	4.32%
6 日本国債	日本	1.300%	2014年3月20日	Aa3	AA	3.87%
7 ドイツ国債	ドイツ	3.750%	2017年1月4日	Aaa	AAA	3.69%
8 イギリス国債	イギリス	8.000%	2015年12月7日	Aaa	AAA	3.53%
9 ドイツ国債	ドイツ	3.250%	2015年7月4日	Aaa	AAA	3.25%
10 米国国債	アメリカ	2.750%	2013年10月31日	Aaa	AAA	3.22%
合計						43.18%
組入銘柄数						113銘柄

上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・3ページおよび5ページ～10ページに記載されている「*1～*4」の用語説明は、11ページに記載しています。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

年金払定期付積立型変額保険

用語説明

- *1 「リバランス」とは、当初決定した資産配分比率に調整することをいいます。
- *2 「MSCIワールド・インデックス」とは、MSCI Inc.が世界の先進国株式市場のパフォーマンスを測るために開発した指数で、各国の株式時価総額等をベースに算出されたものです。
MSCIワールド・インデックスに関する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は、指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
MSCIワールド・インデックス(税引後配当金込/円ベース)は、MSCIワールド・インデックス(米ドルベース)をもとに、わが国の対顧客電信売買相場の仲値を用いて委託会社が円ベースに換算したものです。
- *3 「シティグループ世界国債インデックス(円ベース)」とは、シティグループ・グローバル・マーケット・インクが算出・公表する指数で、1984年12月末日を100として世界主要国の国債の総合投資収益を各市場の時価総額で加重平均し指数化したものです。
シティグループ世界国債インデックス(円ベース)に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はシティグループ・グローバル・マーケット・インクに帰属します。
- *4 「TOPIX(東証株価指数 配当込)」とは、東京証券取引所第一部に上場されている普通株式全銘柄の浮動株調整後の時価総額を指数化し、配当収益を考慮したインデックスであり、市場全体の動向を反映するものです。TOPIX(東証株価指数)は、株式会社東京証券取引所(以下株東証取引所)の知的財産であり、この指数の算出、数値の公表、利用など株価指数に関するすべての権利は株東証取引所が有しています。株東証取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止、またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

年金払定期付積立型変額保険のリスク及び諸費用について

【投資リスクについて】

この保険は積立金額、払いもどし金額および満期保険金額などが特別勘定資産の運用実績に応じて変動(増減)するしくみの変額保険です。特別勘定資産の運用は、主として国内外の株式および公社債を主要投資対象とする投資信託を利用して運用され、株式および公社債の価格変動と為替変動などに伴う投資リスクがあります。特別勘定資産の運用実績が積立金額に直接反映されますので、このリスクはご契約者に帰属し、ご契約者が損失を被ることがあります。運用実績によっては、ご契約を解約した場合の払いもどし金額や満期保険金額などが払込保険料総額を下回る場合があります。特別勘定における資産運用の結果がご契約者の期待通りでなかった場合でも、当社または第三者がご契約者に何らかの補償・補填をすることはありません。

【諸費用について】

お客様にご負担いただく費用は、危険保険料、各保険契約管理費、および運用関係費の合計額となります。

<第1回の年金の支払事由発生前にかかる費用>

項目	費用	備考
危険保険料	毎月の初日から末日までの日々の危険保険金額を平均した額に、危険保険料率を乗じた金額	月単位の契約応当日の前日末に積立金から控除します。
保険契約管理費 (保険料比例部分)	保険料(任意一時払保険料を除く)に対し、 3.00%	各保険料を特別勘定に繰り入れる際、当該保険料から控除して積立金に充当します。
保険契約管理費 (定額部分)	毎月 250円(固定費)	月単位の契約応当日の前日末に積立金から控除します。
保険契約管理費 (危険保険金額比例部分)	毎月の初日から末日までの日々の危険保険金額を平均した額に対し、 0.01%/月	月単位の契約応当日の前日末に積立金から控除します。
保険契約管理費 (積立金額比例部分)	積立金額に対し、 年率1.00% (1.00%/365日を乗じた金額)	毎日、積立金から控除します。

危険保険料は、危険保険金額が積立金額の変動によって変動すること、また、危険保険料率が被保険者の年齢や性別によって異なることから具体的な数値を記載することができません。危険保険料率について詳しくは、「ご契約のしおり・約款」をご覧ください。

毎月の初日から末日までの日々の危険保険金額を平均した額が1,000万円を超える場合、高額割引が適用され、その月の保険契約管理費(危険保険金額比例部分)がお安くなります。ただし、基本年金年額の減額や積立金額の増加などにより、危険保険金額が1,000万円以下となる場合には、高額割引は適用されなくなります。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

年金払定期付積立型変額保険のリスク及び諸費用について

< 積立金の移転や解約などにかかる費用 >

項目	時期	費用	備考
積立金移転費用	積立金の移転時	[書面による移転申込みの場合] 月1回目1,500円、 2回目以降は1回につき2,300円 ^(*)	毎回に移転について積立金から控除します。
		[インターネットによる移転申込みの場合] 月1回の積立金の移転は無料、 2回目からは1回につき800円 ^(*)	1ヵ月に2回以上積立金の移転を行なう場合、 2回目からの移転について積立金から控除します。
解約控除	解約時	積立金に対する解約控除額(積立金に解約控除率10%~1%を乗じた金額)と危険保険金に対する解約控除額(危険保険金に解約控除率0.50%~0.05%を乗じた金額)の合計額	解約日が契約日より起算して10年未満の場合には、 経過年数に応じて計算した金額を、 解約日の翌営業日の積立金額から控除します。
解約控除	積立金の一部引出時	積立金に対する解約控除額(積立金に解約控除率10%~1%を乗じた金額)	一部引出日が契約日より起算して10年未満の場合には、 経過年数に応じて計算した金額を、 一部引出請求金額から控除します。

(*) 月単位の契約応当日から翌月の契約応当日の前日までに積立金移転を行った回数

経過年数については1年未満は切り上げとなります。

無償引出限度額(解約日または一部引出日の前日の積立金額の10%相当額)と同額の積立金額までは上記の積立金に対する解約控除額の計算対象となりません。

ただし、すでに積立金の一部引出が行なわれている場合はその合計額を無償引出限度額から差し引きます。

解約時の払戻し金の支払いに際しては、解約日の属する月に控除すべき危険保険料および保険契約関係費を払いもどし金額から差し引いてお支払いします。

基本年金年額の減額、契約の型の変更、保険期間の短縮の際にも、危険保険金額の減額により、危険保険金額に対する解約控除が適用される場合があります。

将来、上記の内容が変更になることがあります。

運用関係の費用

項目	時期	費用	備考
運用関係費	毎日	ライフプロデュース30 年率0.7770%程度 (税抜年率0.74%程度)	投資信託の純資産額に対して、 毎日積立金から控除します。
		ライフプロデュース50 年率0.8295%程度 (税抜年率0.79%程度)	
		ライフプロデュース70 年率0.8820%程度 (税抜年率0.84%程度)	
		ライフプロデュース日本株式 年率0.8610%程度 (税抜年率0.82%程度)	
		ライフプロデュース世界株式 年率0.8925%程度 (税抜年率0.85%程度)	
		ライフプロデュース世界債券 年率0.5460%程度 (税抜年率0.52%程度)	

運用関係費は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。

信託報酬の他、信託事務の諸費用等、有価証券の売買委託手数料及び消費税等の税金等の諸費用がかかりますが、

これらの諸費用は運用資産額や取引量等によって変動するため、費用の発生前に具体的な金額や計算方法を記載することが困難であり、表示することができません。

また、各特別勘定がその保有資産から負担するため、基準価額に反映することとなります。したがって、お客さまはこれらの諸費用を間接的に負担することとなります。これらの運用関係費は、運用手法の変更・運用資産額の変動等の理由により、将来変更される可能性があります。

ライフプロデュース世界株式の運用関係費は、2008年10月1日付で、

年率0.9975%程度(税抜年率0.95%程度)から年率0.8925%程度(税抜年率0.85%程度)へ変更となりました。

ライフプロデュース世界債券の運用関係費は、2008年7月2日付で、

年率0.6405%程度(税抜年率0.61%程度)から年率0.5460%程度(税抜年率0.52%程度)へ変更となりました。

< 第1回の年金の支払事由発生以後にかかる費用 >

項目	時期	費用	備考
年金管理費	年単位の契約応当日	支払年金額の1%	年金支払開始日以後、 年単位の契約応当日に責任準備金から控除されます。

年金管理費は、将来変更となる可能性があります。

[引受保険会社]

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>